

科 目 名	畜産	単 位 数	2 単位	学 科 ・ 学 年	畜産総合 科 3 年	
使用教科書	畜産	実教出版	副 教 材 等	乳牛・肉牛審査標準テキスト (プリント)		
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) 家畜の飼育と畜産経営について 課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 【学習内容について】 このシラバスはAコース選択の畜産(2単位分)で学習する内容です。1年から3年まで分割履修のこの科目では、各学年で主に学習する家畜(畜目)を定め、3年のAコースでは肉牛を中心に据えた学習を行います。また、科目「総合実習」と関連させて学習を進めます。					
学 習 評 価	○次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①知識・技能	家畜の飼育と畜産経営について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。				
	②思考・判断・表現	家畜の飼育と畜産を経営する学びをとおして課題を発見し、科学的根拠などに基づいて創造的に解決している。				
	③主体的に取り組む態度	家畜の飼育と畜産経営について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	◎	○	◎	自己評価・実習での取り組み姿勢
		プリント教材	—	—	○	提出プリント
		ノート提出	◎	○	○	学習シート
		定期考査	◎	◎	—	確認テスト・定期考査
	※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					
履 修 上 注 意	○授業形態は座学が中心ですが、前半に肉牛・乳牛審査標準に照らし合わせ、良好な牛を見極めることができるよう、実際の牛を教材に家畜審査等の実習を行います。また、後半には貯蔵飼料(乾草・サイレージ)の調整を、実習も取り入れ学習します。 ○実習を伴いますので、各種提出物や定期考査同様、実習へ取り組む姿勢・態度についても評価をします。 ○評価は、3年生全員が履修する畜産(2単位)と、本講座のAコース選択畜産(2単位)を合わせ、4単位の科目として評価をします。					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4	肉牛の飼育 1 肉牛の特性 肉牛のからだ 肉牛の家畜化と歴史 肉牛の性質	8	肉牛の特徴を学習し、食資源として有効な動物であることを理解する。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・1学期中間考査
	5	肉牛の一生と生産 肉牛の産業的意義と飼育動向	8	牛の起源、品種を学習し国産牛の歩みを学ぶ。	
	6 7	2 肉牛の品種と選び方 世界の肉牛と品種 日本の肉専用種とその審査基準 3 肉牛の施設・設備とその利用 飼育施設	12	品種の種類とその特徴を理解する。 牛舎の構造や環境について学習する。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・1学期末考査 ・小テスト(家畜審査予選)
2	9	繁殖・分娩の施設・設備 哺育・育成の施設・設備 飼育の施設設備 4 肉牛の繁殖と育成 繁殖肉牛の飼養管理 初生子牛の飼料と飼養管理 育成牛の飼養管理	10	牛舎構造や環境について学習し、用途に必要な飼育環境を理解する 受精のメカニズムを理解し、分娩前後の管理、繁殖雌牛・初生子牛の栄養管理について学習する。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・2学期中間考査
	10	5 肉牛の飼育 肥育の様式 肥育素牛の選定 肉牛の飼養体系と飼料 肥育前期の飼養管理 肥育後期の飼養管理 肉質と飼養管理	10	肉牛における肥育方法を学習し、乳牛との飼養管理の違い、肉質に及ぼす影響について考える。 肉質等級・歩留まり等級を理解するとともに、日本人が好む牛肉についても考える。	
	11 12	6 肉牛の病気と予防衛生 繁殖雌牛の病気 哺育子牛の病気と対策 肥育牛の病気と対策	12	生産病の原因と病徴を理解する。 家畜伝染病の原因と病徴、及び感染対策について考える。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・2学期末考査
3	1 3	7 肉牛の経営 肉牛経営の特性 発育・肉質と経営 肉牛経営の今後と制度 経営の診断 8 その他の家畜 ウマ・メンヨウ・ヤギ等	10	経営診断の方法を理解し、日本における肉牛経営の課題や、これからの肉牛経営のあり方について考える。 その他の家畜の種類や特徴に触れ、その可能性について考える。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・学年末考査(卒業考査)
その他	6 11	①家畜審査を取り入れた学習 ※家畜審査競技出場(校内予選選抜者) ②飼料調整実習 ※貯蔵飼料の調整方法(サイレージ等)		・実際に牛に触れ、乳牛、肉牛の体の構造を理解する。 ・家畜審査競技県大会入賞を目標に取り組む。 ・良質な粗飼料生産について考える。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・小テスト
			70		